

日本カイロプラクティック師協会(JSC)北陸支部
北陸カイロプラクティック師協会

ほっ カイロ
北-Chiro



Vol. 8 [2011年4月号]

私もカイロの世界に入って、早いもので30年が経過した。周りを見回してもいつの間にかすっかり古参になってしまった。私なりに今までコツコツと研鑽を続けてきたが、後発の先生方にどんどん抜かれて力不足を感じている。経験だけはあるが、学力知力がまだまだ不足している。でも焦っても仕方がない。自分のペースで生涯研鑽を続けていくつもりではいる。

最近、同輩の先生方と顔を合わせる機会がめっきり少なくなってきた。皆如何しているのだろうか。旧交を期待してイベントに参加しても懐かしい顔に出くわすことがないのが少々寂しく思う。私は今後も「あの爺ちゃん、また来ている」と言われるくらい勉強会やイベントには参加するつもりでいる。行けば何か一つくらいは実になっているし、日頃患者さんにエネルギーを吸い取られているので、若く元気な先生方と交流することでエネルギーをもらい自分の充電にもなるからである。またじっとして居られないのは私の性分であろう。

ここ数年、セミナーや勉強会で講師をする機会が何度かあった。主だった先生方は以前より講師をしていたので、自ずと私に順番が回ってきただけであろう。私もそんなにたくさんネタを持っているわけではないのでそろそろ種切れである。支部の例会でも特に真新しい事もお話できないので、マンネリ化してきていて申し訳なく思う。でもまだまだ勉強することがあると思う。取りあえずアジャストや触診を始めとした検査の精度を上げることが必要であろう。分かったと思っているだけで出来ない部分が多いのではない。

方や同友会のスクーリングでは初学を受講生に対しては持ちネタがたくさんあり、受講生にもまた意欲があり活性化している。そろそろ私中心の勉強会ではなく皆さんが主役となって活動してくれることを期待したい。

教えることは学ぶこと、人に教えるからには自分が何倍も理解していなければならないので、本当の意味で勉強になる。是非皆さんも自分を追い込んで勉強される事をお勧めします。本当の意味で実力が付きますよ。同友会の講師もだれか変わって頂けたらお願いしたいと思っています。

昨年度から始まったKOセミナー、私も何度か講師のお手伝いを仰せつかっている。声を掛けてくれた荒木寛志先生の期待に添えるように今年も精いっぱい頑張ってみる決意である。是非、一人でも多くの方が受講してくれるようお薦めしたい。

黒部例会の活動を振り返って

山田 隆司

周知のとおり黒部例会は、毎月第3金曜日に行っている。平成21年4月から始まり、ちょうど2年経過した。

スタート当初は、「五感を磨く。心身の安定や平安を探求する。」という目的で、つまり、当時行われていた心療講座の内容を基に、北陸カイロの仲間と勉強したいという私個人の思いからであった。

しかし、いざ勉強会を行ってみると、私自身の中で整理されていないこともあって、当初の目的どおりに事が進んでいないと思っている。内臓を勉強したり、またある時は、治療会で終わったりと、ただ勉強会を消化しているだけだと思うこともあった。これに関しては、皆様に大変申し訳なく思っている。

話はがらりと変わるが、最近「ヴィパッサナー瞑想」という瞑想法を知った。ヴィパッサナーのヴィは「明確に、区別して」、パッサナーは「観る、観察する」、つまり、「(自己を)明確に観察する修行法」だそうだ。自己観察には「サティ(気づき)」という心の働きが欠かせず、観察する時は何も判断せずにあるままに観ることが大切、とある。自分自身を観るときにも患者を診るときにも、このありのままに観る(診る)ことは非常に大事なことではないかと思う。

私の希望ではあるが、黒部例会では、これから当初の目的どおり、感性を磨き、自分自身の状態に気づき、参加者それぞれが安定することを目指す勉強会にしたいと思っている。それを基本に据えて、あとはオステオパシーやセミナーの復習会等、内容は色々あっても良いのではないかと思う。他の参加者の意向もあると思うし、まだまだ検討し、修正していく必要が出てくるかと思うが、自他共に実りのある勉強会にしていきたいと思っている。

今年一年勉強会(富山例会)に参加して

新開 秀樹

富山例会は第2、第4金曜日の22時～高橋克典先生のオフィス(高橋カイロプラクティック全尽堂)でおこなわれています。

何時も22時を少し過ぎたあたりからぼつぼつ集まりだし、ほとんどの場合、日々の治療の場での疑問や質問を高橋克典先生に聞いて、先生がそれについて

実際にやってみると、頭では解っていても出来ないことや、忘れていること、自分が知

らないこと、検査法や治療法の一連の流れや考え方も聞けてとても勉強になる。

一人で治療しているとどうしても解らないことや疑問が出てくる、そんな時、例会の際に高橋克典先生や他の先生に意見やアドバイスをもらいとてもためになっている。

答え、その日はそれに関連した検査法や治療法をみんなでやってみる。最近ではオステオパシーアトラス（医道の日本社）を教科書にしてみんなで実技をしながら新たな勉強もしている。

ここ最近例会に参加するメンバーも固定され（大体4～5名）ややフレッシュ感に欠けるのではと思っています。参加したことのない先生や最近ご無沙汰の先生がまた参加してくれ、ますます例会が活性化しいろいろな先生の意見が開ける場になればと思っています。

平成22年度を振り返って

藤岡敦己

21～22年度の2年間、JSC代議員を務めさせていただきました。メールを使った会議には積極的に発言し、年2回の対面会議も毎回出席し発言してきました。

お蔭さまで、本当にたくさんの方々を知り合うことができ、様々な経験をさせていただきました。

今年度は4月の代議員会で会報の編集長を拝命し、年間10回発行というペースで会報WITH YOUを発行しています。当初は、ワード機能の使い方がわからなかったり、原稿が集まらないため発行が遅れ気味でしたが、3～4ヶ月前くらいからようやく正常化してきました。

また代議員会終了後、日本カイロセミナー2010 in 大阪の実行委員を頼まれ、運営係の一員として半年前からメーリングリストとスカイプを使って会議を繰り返し、計画実施いたしました。意見のぶつかり合いから険悪なムードになった事もありましたが、話し合いを深めることによって理解も深まり、結果としてテーマであった『絆』を強めることができました。それらはすべて自分を磨く機会となり、肥やしになりました。

このように2年間代議員を務めさせていただき、素晴らしい出会いや機会に巡り会えました。この仕事を独り占めするつもりはありませんので、来年度はどなたか立候補されてみてはいかがでしょうか。

さて、学びの方ですが、昨年は受身的な勉強の仕方が多かったように思います。これからは、テーマを決めて、それについて積極的に調べ理解を深めていきたいと思っています。さしあたり、来年度は痛みについて生理学的に理解を深め、臨床に活かしていきたいと思っています。

■勉強会のお知らせ

- 富山例会 第2、第4金曜日22時～ 高橋カイロプラクティック全盛堂にて
- 黒部例会 第3金曜日21時～ みやざき接骨院にて
- 金沢例会 勤労者プラザにて (問合せ：高橋克典まで)

総会のお知らせ

日時：平成23年4月29日（金）にあります。

詳細は後日でお知らせいたします

会計からのお知らせ

今年度の年会費を未納の先生は納めくださるようお願いいたします。

編集後記

こんにちは。宮崎です。

春めいてくると私もだんだん気分がルンルンになってきますが、花粉症の人はだんだん減ってきますよね。私も時々ムズムズ感があり、花粉症？と思うことがあります。先生方は花粉症対策はされていますか？いい対策方法があれば教えてください。

私ごとですが、最近服を買う機会が少なくなった気がします。仕事は白衣だし外出することも少なくなったし…でも、最近いろんなお店があり、価格が安く、いろんな色の服があり、服選びが楽しそうですねー

先生方は服を買う時どんな基準で買われますか？自分で選ぶ、奥さんに任せる、価格で選ぶ。自分のセンスで服を選ぶのはなかなか難しいものだと思います。一般には“この色合いが自分に合うかな”と思って買ってくる人が多いと思いますが、家に帰って服を見ると同じ色合いの似たような服ばかりになっていませんか？人から見て自分に似合う色というのは、自分で似合うと思っているものと思うことが多いそうです。“少し派手かな”と思うくらいの色が良いそうですよ。

しかし、今は東日本大震災で大変な時です。買うのを我慢してその分を少しでも義援金にまわしたいと思っています。でも、気分を変えることは大事！着こなし上手になって気分をリフレッシュしたいと思っています。

先生方も今年は着こなし上手になって気分を変えてくださいな。

今度お会いするとき、“あれっ、雰囲気変わったんじゃないんですか？”って思わせるようになっていってください（笑）

お会いするのを楽しみにしております（笑）